

小学生の部 講評

<p>鳥取県知事賞</p> <p>米子市立車尾小学校 5年</p> <p>よねはら かえ 米原 花恵</p>	<p>視野を広く持ち、世界の温暖化や干ばつ、人や動物の生きる環境等と緑化を結びつけながら一枚の原画にまとめています。両手でうけた手の上に青々とした木がしげり、自分自身も緑を守っていこうとする気持ちが表現されています。本物の葉をスタンプのように使ったアイデアも優れています。</p> <p>講評：佐藤委員</p>
<p>鳥取県教育委員会教育長賞</p> <p>該当なし</p>	
<p>鳥取県緑化推進委員会 理事長賞</p> <p>該当なし</p>	
<p>佳作</p> <p>該当なし</p>	
<p>佳作</p> <p>該当なし</p>	

中学生の部 講評

<p>鳥取県知事賞</p> <p>大山町立中山中学校 1年</p> <p>たけした ゆずか 竹下 柚華</p>	<p>干からびた道が沢山の木々に囲まれていくにつれ、息吹を感じる道へと変化していく。明るい日ざしも感じられるようになり、私たちが進むべき豊かな世界を教えてくれる作品となっている。</p> <p>講評：藤原委員</p>
<p>鳥取県教育委員会教育長賞</p> <p>琴浦町立東伯中学校 3年</p> <p>こたに もえ 小谷 萌</p>	<p>単純化された大木のフォルムと、背景の赤が目を引きまします。幹や葉を描く際にはクレヨンで大木の枝から長く降りたブランコには白いペンを、その他の部分は絵の具を用いて描いています。自分の表現意図を明確に持ち、画材を工夫することで魅力的な作品となりました。</p> <p>講評：佐藤委員</p>
<p>鳥取県緑化推進委員会 理事長賞</p> <p>大山町立中山中学校 1年</p> <p>ふじわら ゆうすけ 藤原 悠祐</p>	<p>のどかな草原に濃い緑の樹木、青い影も印象的です。白く浮かぶいくつもの雲と空が重なり、どこまでも続く静かな風景のようです。</p> <p>講評：川崎委員</p>
<p>佳作</p> <p>鳥取市立湖東中学校 2年</p> <p>いふく なつみ 伊福 夏実</p>	<p>大きく成長した木々の中に生まれたばかりの小さな苗木が有る。あたかも父や母がその成長を見守り、「早く大きくなれ」と声をかけている様だ。順番に命が繋がれ、自然を形成していく姿が良く解る。心温まる良い作品だ。</p> <p>講評：藤原委員</p>
<p>佳作</p> <p>琴浦町立東伯中学校 1年</p> <p>ひしい あやり 菱井 綾里</p>	<p>木の子どもして描かれたキャラクターが愛らしい作品です。「森の記憶」というタイトルや季節ごとのキャラクターのしぐさ、表情などから作者が四季折々に変化する森の風景を愛情や感動を持って見つめ、伝えようとした気持ちが伝わってきます。</p> <p>講評：佐藤委員</p>

高校生の部 講評

<p>鳥取県知事賞</p> <p>学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年</p> <p>えんどう さき 遠藤 咲季</p>	<p>クレヨンで描かれたタッチが絵全体を引き締めています。新芽を持つ手に「育め！」という強い願いが感じられ、新たな樹木の成長を輝きとともに暗示している力強い作品です。</p> <p>講評：川崎委員</p>
<p>鳥取県教育委員会教育長賞</p> <p>学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年</p> <p>ながお しおん 長尾 紫音</p>	<p>シンプルにデザイン化された人の手が観る人に強いインパクトを与える。そして、その手の中にマリモの様なやさしく成長していく若木。人と自然、樹木の関係がわかりやすく表現されている。私達人間がしっかりと樹木を守り育てていこうとする強い意志を感じる。</p> <p>講評：藤原委員</p>
<p>鳥取県緑化推進委員会理事長賞</p> <p>学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年</p> <p>ほそだ うさき 細田 海咲希</p>	<p>画面からはみ出すように描かれた大木は、見る人に力強さとあたたかさを感じさせます。空に飛ぶ一羽の鳥や木の下の花は小さく描くことで木の大きさを際立たせています。大胆な画面構成と異なる画材を重ねて使い、微妙な色の変化を生み出すなど細やかな工夫であり、魅力ある作品となりました。</p> <p>講評：佐藤委員</p>
<p>佳作</p> <p>学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年</p> <p>よこやま はな 横山 羽菜</p>	<p>パステルを使用して、爽やかな風景を描いています。日差しがやさしく降りそそいでいる描写が効果的で穏やかな作者の心を表しているようです。</p> <p>講評：川崎委員</p>
<p>佳作</p> <p>学校法人米子永島学園 米子松蔭高等学校 2年</p> <p>あおと こまき 青砥 小牧</p>	<p>広い大草原のような大地に突然あらわれた大木。大地の主のように成長し、息づいている。その場にいる人は大きな安心感や喜びを感じるのであろう。絵の中の人物からは幸せな表情が溢れている。人にとって樹木の存在の大切さが良く解る。</p> <p>講評：藤原委員</p>